

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

キャリア人材を活用する「人中心」が事業戦略のバックボーン (オリックス)

- 1 「均質な組織を崩す」「同質性が高いとイノベーションは生まれない。だから自前主義を捨てる」等今や大転職の時代である。少数だが国内にも、外部人材の活用によって成長を続ける先行実践企業はある。オリックスだ。「隣へ隣へ 新しい価値を創造する」。名誉会長を務めた故・乾恒雄氏の経営哲学に表れるように、祖業のリースを起点に事業を広げてきた。
2. オリックスには、プロパーの人材と、外で専門的なことを経験した人材をミックスして、新しいものを作ろうとするコンセプトが、もともとある。例えば、東日本大震災後に本格化した太陽光発電など再生可能エネルギー分野。そこで、重電メーカーや電力会社と異業種の技術系人材を採用してきた。
3. オリックスは今や、アセットマネジメント（資産運用）から水族館運営まで手掛ける。完全に人の力で支えられている。リース会社の人間だけでは絶対に成長の持続に耐えられない。キャリア人材を活用する「人中心」が事業戦略のバックボーンにある。十数人で起業したベンチャー精神が売上高2兆5000億円、グループ従業員約3万3000人の巨大企業になっても、息づいているともいえる。

(参考：「日経ビジネス」2023年2月20日号)

経営者のための理念・哲学

「和敬清寂」に込めた利休の思い 千玄室（茶道裏千家前家元）

1. いま、心に響くのは利休が説いた「和敬静寂」という言葉です。「和」は和み、「敬」はお互いを尊敬し合う、リスペクトする気持ちを持つこと。「清」とは心を清らかにする習慣です。人間の心は汚い。これを自分で収められるよう自己を修じなくてははいけません。修じるには祈りであるとか、お茶を点てるとか、そういうものを持つことが大事です。
2. 最後の「寂」はウロウロするな、不動の信念を持って歩めということです。いま政治家でも経営者でも、いいことは言うけれどもウロウロしてばかりでしょう。言というものがいかに大事か。私はそれを名僧・後藤瑞巖老師に教えられました。「あんたのひと言が大事や。いい加減な言葉を使ったら四頭立ての馬車で追いかけても、追いつかんぞ」と。

(参考：「致知」2023年5月号)

ワンポイント経営アドバイス

高収益企業は「ゲームチェンジ」を起こす企業 遠藤功（シナ・コーポレーション代表）

1. 日本企業が今直面している課題の1つが、原材料価格高騰だ。どの業界でも企業が価格転嫁による値上げを迫られている。ただ不健全なデフレからの脱却という意味では、賃上げは悪い話ではない。むしろ、よいものを高く売ることは健全な姿といえる。ただし5～10年後を見通せば、値上げを決断した企業の中でも明暗が分かれるのではないかな。
2. つまり値上げを高収益につなげ、優秀な人材を獲得できる企業と、高収益化を果たせず、低賃金で人材流出を招く企業とである。では、どんな企業が値上げを高収益に結び付けられるか。それは各業界で「ゲームチェンジ」を起こす企業だ。では企業はどうすれば各業界でゲームチェンジを起こせるのか。何より重要なのは経営者の意識だ。異業種から来た経営者のほうが業界に風穴を開け、新たな秩序を作りやすい。

(参考：「週刊東洋経済」2023年2月25日号)

古典に学ぶ

知恵も願いを叶える力も私たちの中にある

1. 仏性とは、仏様と同じ性質です。仏様がそうであるように、悩みを解決する知恵も、願いを叶える力も、実は、私たちの中にあるのです。
2. 幸せへと導く「青い鳥」は、どこか遠いところにあるのではなく、私たち自身の中にあるというわけです。

(参考：名取彦彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社)